

平成31年度 子どもの居場所づくり推進事業 事業計画書

団体名 (地球益の会)

1. 事業の内容

<p>①事業の目的</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 家で1人で食事をする、夜遅くまで1人で過ごすといった環境にあるなど、家庭的に様々な課題のある子どもたちが、食事の提供を通じ、地域で安心して過ごせるための居場所づくりに取り組みます。</p> <p>全ての子どもたちは、みな人として貴ばれる尊厳をもって生まれてきました。生きる基本となる「食」を通じて子どもたちの心身の健康と情緒的安定を整え、地域で支援を必要としている子ども達を対象として、美しい里山の豊かな自然の中で、人と人との自然な愛の交わりの中で、生かされている喜びを体験し、自らの存在を貴ぶ心を育む「人間力回復の場」を提供することを目的とします。</p>
<p>②取り組みの内容 (次ページに続く)</p>	<p>1. 事業の名称 (ラハミームの家 子ども食堂)</p> <p>2. スタッフ数 (7 人) 学校職員、カウンセラー、健康管理士、管理栄養士、元会社経営者など</p> <p>3. 開催場所 (利用施設名 堀江ハウス) (利用施設住所 枚方市尊延寺3-13-11)</p> <p>4. 準備食数 (区分と食数) ・区分 ※以下のどちらかの記号に○をしてください。 A: 実施1回の子どもへの準備食数を20食以上の規模で運営 <input checked="" type="checkbox"/> B: 実施1回の子どもへの準備食数を20食未満の規模で運営 ・子どもに提供する実施1回の準備食数 (19 食)</p> <p>5. 利用定員 (約30人)</p> <p>6. 事業開始日 (2016年 11月11 日)</p> <p>7. 実施日 (毎月第2、第4金曜日)</p> <p>8. 実施時間 (15時00分頃 ~ 20時00分頃)</p>

<p>②取り組みの内容 (前ページの続き)</p>	<p>9. 利用者からの問い合わせ先 電話：080-3838-4370 FAX：072-808-7700 Eメール：chikyueki@gmail.com</p> <p>10. 食材の調達方法 農薬、化学肥料などを使っていない特別栽培野菜を合同会社ソリトン One-J やパルコープなどの支援団体から提供を受け、また一部は市の補助金を活用しながら極力添加物等の入っていない、安心・安全な食材を調達する。</p> <p>11. 食事の内容 フードカウンセラーや管理栄養士、健康管理士などの専門家と連携して、農薬、化学肥料などを使っていない、人と地球に優しい特別栽培野菜を中心に、顎だしを使うなど極力無添加で安心・安全な食材を用いた、「マゴワヤサイ」を実現する和食中心の献立とする。</p> <p>12. 利用者負担 中学生以下無償 高校生以上300円</p> <p>13. 食事提供以外の取り組み チャイルドアートカウンセリング（自由に絵を描いたり、ねんど遊びなどのできる場所を用意し、空間的自由と心理的自由の中で子ども達の癒しの場を提供する。） 里山での農業体験や自然とのふれあい、発明教室、外国人との英会話教室 自主学習支援等</p>
<p>③安全管理の考え方</p>	<p>保健所の指導のもと、適切な環境を整え、また管理栄養士や健康管理士等の専門家と共に食品衛生に関する体制を整える。 また、万一の事故に備えて適切な保険に加入する</p>
<p>④情報発信の考え方</p>	<p>子ども食堂のチラシを氷室小学校を通して全家庭への配布、杉中学校での各クラスでの掲示をお願いする。 また、枚方市や自治体の広報への掲載や、地域での回覧や掲示板等にて広く一般市民の方々に告知する。またインターネットを通じてPRを行う。</p>
<p>⑤事業の継続に関する考え方</p>	<p>地域の自治体や子供会、また学校・保育園などと連携しながら、地域に開かれた子ども食堂を目指す。</p>
<p>⑥団体の活動実績</p>	<p>無農薬野菜や天然だしなどをつかったミネラルたっぷりの食材を用いたメニューと、里山の自然の中での様々な体験を通して、子どもたちが生き生きと育っていている。また、食を通して発達障害などの改善指導をされている国光美佳氏の食育セミナーを同時開催するなどし、地域の方々に心が健やかになる食の力をお伝えした。また、地域の不登校の子ども達の居場所ともなっている。地域の問題を抱えたお母さんがたも、ミネラル豊富な食を食べていただくことで、心理的苦痛から解放されるきっかけにもなっており、糧的な問題の相談の場にも変わっていている。</p>

<p>⑦自由記入 (その他提案等があれば)</p>	<p>このような活動を行っていかなかで、現代食がミネラル不足であるために、様々な問題の原因となっていることが徐々に認知されはじめています。その中で、当子ども食堂の活動も注目をいただくようになってきた。食べることで、心が落ち着き穏やかで積極的に変わっていくことを、さらに広くお伝えし、多くの問題を抱えた家庭の力になりたいと願います。</p>
-------------------------------	---

2. 実施のスケジュール

	実施予定回数	実施の概要
4月	実施予定回数 <u>2</u> 回	4月 第2、第4金曜日開催 夕食の提供、農園体験、自主学習支援などを実施
5月	実施予定回数 <u>2</u> 回	5月 第2、第4金曜日開催 夕食の提供、農園体験、自主学習支援などを実施
6月	実施予定回数 <u>2</u> 回	6月 第2、第4金曜日開催 夕食の提供、農園体験、自主学習支援などを実施
7月	実施予定回数 <u>2</u> 回	7月 第2、第4金曜日開催 夕食の提供、農園体験、自主学習支援などを実施
8月	実施予定回数 <u>2</u> 回	8月 第2、第4金曜日開催 夕食の提供、農園体験、自主学習支援などを実施
9月	実施予定回数 <u>2</u> 回	9月 第2、第4金曜日開催 夕食の提供、農園体験、自主学習支援などを実施
10月	実施予定回数 <u>2</u> 回	10月 第2、第4金曜日開催 夕食の提供、農園体験、自主学習支援などを実施
11月	実施予定回数 <u>2</u> 回	11月 第2、第4金曜日開催 夕食の提供、農園体験、自主学習支援などを実施

12月	実施予定回数 2回	12月 第2、第4金曜日開催 夕食の提供、農園体験、自主学習支援などを実施
1月	実施予定回数 2回	1月 第2、第4金曜日開催 夕食の提供、農園体験、自主学習支援などを実施
2月	実施予定回数 2回	2月 第2、第4金曜日開催 夕食の提供、農園体験、自主学習支援などを実施
3月	実施予定回数 2回	3月 第2、第4金曜日開催 夕食の提供、農園体験、自主学習支援などを実施

実施予定回数（補助対象となる回数）の年度合計

24回・・・①

3. 計画に基づく申請補助額

運営経費

※上記①の回数に、準備食数の区分が「A」の場合は、7,000円、「B」の場合は、5,500円を乗じた金額

金 132,000 円 …… (1)

初期経費（新たに補助金の交付を受ける団体のみ）

金 0 円 …… (2)

合計 …… (1) + (2)

金 132,000 円

(様式第3号)

平成31年度 子どもの居場所づくり推進事業

収支予算書

団体名 (地球益の会)

運営経費

収入

項目	予算額	内訳
市補助金	132,000円	5,500円×24
参加費 (高校生以上の参加者からの徴収金)	36,000円	300円×120食
その他収入金 (団体自己資金、寄付金等)	72,000円	
合計	240,000円	

支出

	予算額	内訳
食材費	144,000円	1回6,000円×24回
消耗品費	20,000円	食器等
備品購入費	20,000円	調理器具等
謝礼金	5,000円	ボランティア講師謝礼
使用料・賃借料	3,000円	学習支援具等
光熱水費	0円	
保険料	10,000円	ボランティア保険
印刷費	24,000円	チラシ印刷1か月2000円×12回
通信費	4,000円	切手代等
修繕費	10,000円	会場修繕費等
食品衛生責任者となる ための講習の受講料	0円	
合計	240,000円	